3児のママ、経済予測は的確

元気印のBe Face ビー・フェース

竹村亜希子さん

占い師

プロフィル

たけむら・あきこ　昭和二十四年九月生まれ。三十八歳。名古屋市出身。愛知淑徳高卒。横浜銀行名古屋支店に勤めていたが結婚して辞め、愛知県日進町の自宅に東洋易聖研究所を開設、占い師に転身。五十四年五月、名古屋市東区葵のユニーブル新栄のビル内に「占いの玉手箱」の事務所をおき、三十人のスタッフを率いて、活動を続けている。出版も積極的で、昨年末に出した「運を呼ぶ化粧、逃す化粧」（ごま書房刊）が好評。

地震、冷夏 ETC 怖い'88ご託宣

竹村亜希子さんの仕事場、つまり占いの〝霊場〟は名古屋都心のマンションの一室である。勝手にほの暗い幕に囲まれたカリスマ風の室内を想像していた。ところが大違い。ファクシミリがあり、コピーがある。棚の上に無造作に置かれた笠（ぜい）竹がなければ、まるでオフィスだ。

およそ竹村さん自身が占い師らしくない。まるで、タレントのような美人だから。そこで、竹村さんと占いの出合いを尋ねた。

「中学一年のころかしら、十三歳だから。ある日、名古屋の家にヘンなおじいさんが来たの。見も知らぬ、熊本の山奥から出てきた仙人みたいな方でね。お名前を大仙瞑想とおしゃいます。〝夢のお告げで来た〟とかで、それから五年もの間、私の家に住みつき、なんにも知らない私に占いの英才教育、特訓だったわ」

そのまんま、ある日フラッと風のように、そのナゾの仙人は姿を消した。いまも、まったく消息は分からないそうだ。

竹村さんが、占い師に転身したのは、それから十年後。二十八歳ごろ。その間、結婚し、銀行を辞め、三児の母となる。

竹村さんの占いのユニークさは企業、財界とかかわりが多いこと。ことに日本電装主催で七年前から毎年行われているトヨタ自動車と日本電装両社の合同役員懇談会。竹村さんが発表する両社のその年の社運と国内外の経済予測は的確で〝竹村ファン〟を増やしている。

ところで、タツ年のことしの卦（け）は▽天変地異＝地震が多く、中規模のものが関東を中心に何度もある▽気候＝冷夏▽円高＝小刻みに動き、十一―十二月ごろに百円台へ▽株価＝一月に小幅上げ、二月と六月に暴落、秋口に戻し、来年一月に再暴落――とか。

竹村さんの〝活性剤〟は「本のムシだし、音楽とお酒。音楽ジャンルはバロックからジャズまで」。気になる今シーズンの星野・竜を占ってもらったら「上位の一番下」とおっしゃった。この卦だけは外れてほしい。

ぜい竹を持っていなければ、一見売れっ子タレントのような竹村亜希子さん

顔キラッ！ ライフ度100％

毎週月曜日掲載